熊本大学 CARD 中潟研究室
Center for Animal Resources and Development

CARD MEDIUM®
取扱説明書

CARD MEDIUM®は、熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野で開発された
マウス体外受精用培地です。内容品を確認の上、取扱説明書を熟読し、ご使用ください。

―内容品―

1　アンプル管 A
2　ガラス瓶 B
3　1.5 mL チューブ C
4　1.5 mL チューブ D
5　2.5 mL 注射筒
6　注射針
7　フィルター（ポアサイズ 0.22 μm）

―保管方法―

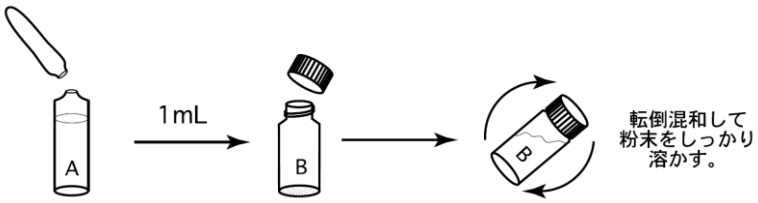
冷暗所（４℃）で保存してください。保存期間については、アンプル管およびガラス瓶に貼付されたラベルをご参照ください。
CARD MEDIUM®原液および希釈液は、作製後ただちにご使用ください。

―注意事項―

本試薬は研究利用のみを対象としており、ヒトや動物の診断や治療目的には使用できません。
人体に有害な成分は含んでいませんが、飲んだり、体に塗布したりしないでください。

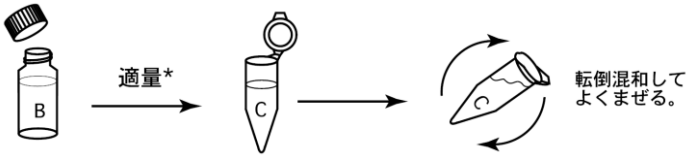
―調整方法（採卵 10 分前に作製）―

1　アンプル A から 1mL の培養液をガラス瓶 B に加え、フタをしてよく混和する。



2　アンプル A から 1.5 mL の培養液をチューブ C に加える。

3　チューブ C かの中に B 液を適量*加えて、希釈する。



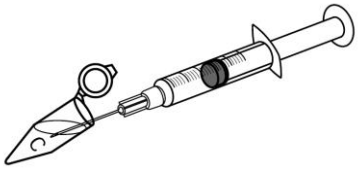
適量*

CASE 1 ： 凍結ー融解された精子を用いて体外受精する場合
15 μL の B 液をチューブ C に加えてください。

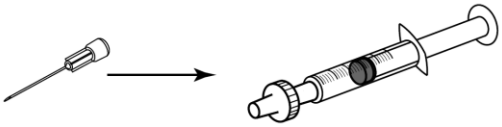
CASE 2 ： 冷蔵輸送された精巣上体尾部から採取した精子を用いて体外受精する場合
7.5 μL の B 液をチューブ C に加えてください。

CASE 3 ： 体外受精率が低いマウス系統の新鮮精子を用いて体外受精する場合
3.75 μL の B 液をチューブ C に加えてください。

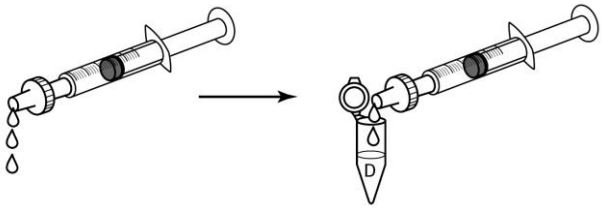
4　注射筒に針を接続し、C の液をすべて注射筒に吸引する。



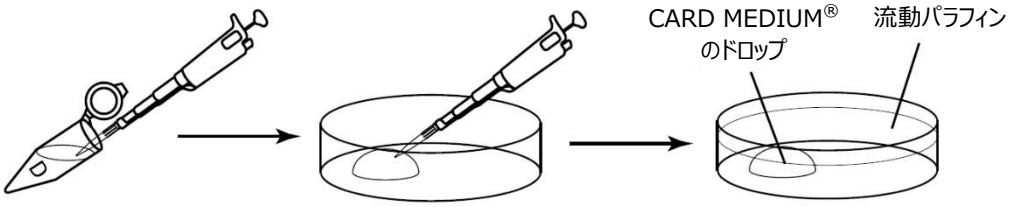
5　注射針を外し、注射筒先端にフィルターを取り付ける。



6　内筒を押して、液を 2～3 滴捨てた後、チューブ D に残りの液を入れる。
　*作製した液の効果は、作製後 4～5 時間です。



7　チューブ D の液（CARD MEDIUM®）を用いて、ドロップをシャーレに作製する。
　凍結ー融解精子で体外受精する場合は、90 μL の CARD MEDIUM®でドロップを作製する。
　冷蔵輸送された精巣上体尾部から得られた精子を用いて体外受精する場合、または、受精率の低い系統（例：129、BALB/c など）の雄マウス（新鮮精子）を使う場合は、200 μL の CARD MEDIUM®でドロップを作製する。



8　雌マウスから採取した未受精卵子を CARD MEDIUM®のドロップに導入し、体外受精を行う。

ポイント：高い受精率を得るために、CARD FERTIUP マウス精子前培養培地での精子前培養をお勧めいたします。
　CARD FERTIUP については以下の URL をご参照ください。
　http://www.kyudo.co.jp/fertiup.html

ポイント：マウスの体外受精など、マウス生殖工学全般については以下をご参照ください。
　熊本大学　生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野　オンライン生殖工学技術マニュアル
　http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/card/japanese/manual/index.html

【製造・販売】
九動株式会社
KYUDO CO.,LTD.
〒841-0075　佐賀県鳥栖市立石町惣楽 883-1
TEL：0942-82-6519　FAX：0942-85-3175
E-mail：fertiup@kyudo.co.jp

※「FERTIUP」は弊社の登録商標です